

県内景気動向調査(2021年1-3月実績、4-6月見通し) — 県内景気は後退している —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:新崎勝彦)はこのたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

【全体概要】

■ 現状判断

今期(2021年1-3月)の県内企業の景況判断 BSIは-35.8の「下降」超。コロナ禍後、初の「上昇」超となった前期(2020年10-12月)から一転、再び大きく落ち込んだ。コロナの再拡大と3度目の緊急事態宣言により景況が悪化したことから「県内景気は後退している」。

■ 見通し

来期(4-6月)の景況見通し BSIは6.2で「上昇」超。緊急事態宣言明けやGoTo再開への期待など好材料はあるものの、楽観的な見方は少なくなっている。

【業種別概要】

■ 観光関連〔「下降」超、見通しは「上昇」超も限定的〕

- 1-3月期の BSIは-68.4で「下降」超。2020年12月からGoToが停止となっているほか、県独自の緊急事態宣言もあり、景況が再度、一気に後退した。先行きは12.3と「上昇」超だが、市況に対する警戒感が根強く、上昇幅は限定的となっている。

■ 建設・不動産関連〔建設は実績、見通しともに「下降」超、不動産は「上昇」超〕

- 1-3月期の BSIは、建設業-25.7で「下降」超、不動産業等3.1で「上昇」超となっている。感染症拡大の影響による工事延期などで業界全体で売上、利益ともに落ち込んだ。統計上では回復傾向が見られるものの、先行きの不透明感がより強くなっている。

■ 消費・サービス関連〔全体として「下降」超 先行きは上向き〕

- 1-3月の BSIは、全体的に「下降」超で、下降幅も大きくなっている。緊急事態宣言による観光客需要減退のほか、県民需要においても行楽やイベント自粛等により、関連する需要が減退している状況が続いている。

【資本金別・地域別概要・売上先マーケット別】

■ 資本金別

- 1-3月期の景況は、資本金規模に関わらず、全体として「下降」超となっている。
- 4-6月期の見通しは、5000万~1億円で「下降」超となっている。1億円以上が34.4で、上昇幅が大きくなっている。

■ 地域別

- 1-3月期は全地域で「下降」超となっている。
- 4-6月期の見通しは、南部のみ「下降」超。その他の地域では「上昇」超となっている。

■ 売上先マーケット別

- 1-3月期の景況は、売上先マーケットに関わらず、全体として「下降」超となっている。
- 4-6月期の景況見通しは、海外売上20%以上のみ「下降」超。その他はすべて「上昇」超となっている。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 瀬川、当銘)
〒900-0015 那覇市久茂地 2-9-12-4F TEL:098-869-8724

1 県内企業景況調査結果概要

(1) 県内企業の景況判断 BSI

■ 現状と見通し

- 実績(2021年1-3月期)
 - 全体の景況判断 BSI(実績)は、-35.8 で「下降」超
- 見通し(2021年4-6月期)
 - 全体の景況判断 BSI(見通し)は、6.2 で「上昇」超

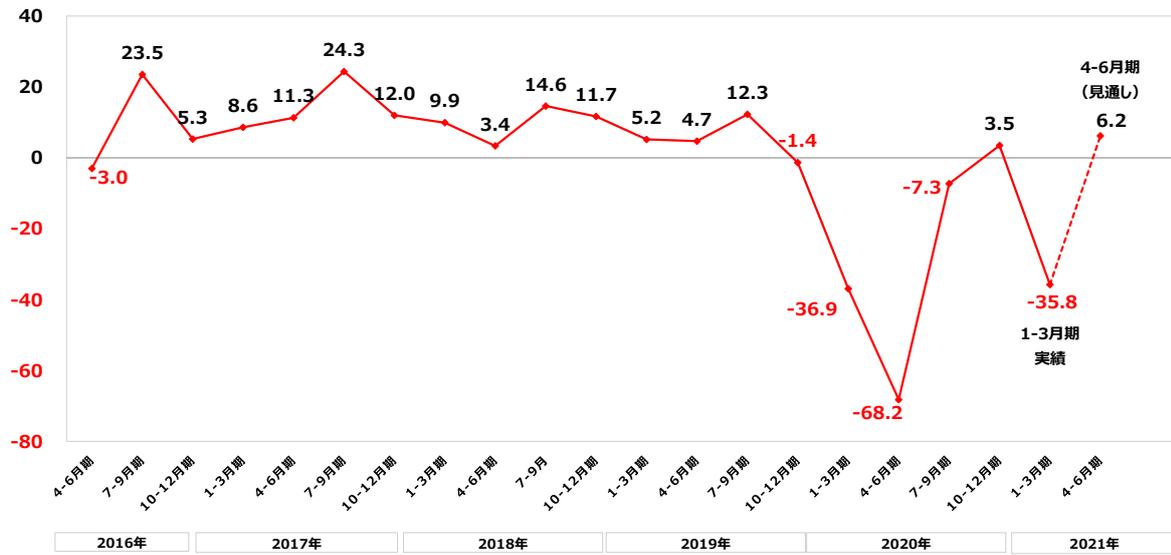
■ 主要業種別結果

- 実績(2021年1-3月期)
 - 「上昇」超は、情報通信業(5.6)、不動産業等(3.1)
 - 「下降」超は、旅行・宿泊業(-68.4)、飲食サービス業(-66.7)、医療・福祉(-44.4)、製造業(-39.5)、その他のサービス業(-35.7)、卸売・小売業(-35.1)、建設業(-25.7)
- 見通し(2021年4-6月期)
 - 「上昇」超は、医療・福祉(38.9)、飲食サービス業(19.0)、製造業(18.6)、その他のサービス業(13.3)、旅行・宿泊業(12.3)、卸売・小売業(5.4)、不動産業等(3.1)
 - 「下降」超は、建設業(-20.0)、情報通信業(-16.7)

■ 企業の景況判断 BSI (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

	時期	2020年				2021年		
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	1-3月期	4-6月期
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
全業種 BSI		-36.9	-68.2	-7.3	3.5	-11.9	-35.8	6.2
建設業		-1.3	-53.6	-12.3	-19.6	-1.8	-25.7	-20.0
製造業		-60.5	-83.3	-26.5	31.7	-14.6	-39.5	18.6
情報通信業		5.6	-41.2	-5.9	0.0	-7.1	5.6	-16.7
卸売・小売業		-34.7	-64.6	4.7	-5.1	-3.8	-35.1	5.4
不動産業等		-16.1	-44.4	-16.1	-24.2	0.0	3.1	3.1
旅行・宿泊業		-91.1	-100.0	-7.0	42.2	-33.3	-68.4	12.3
飲食サービス業		-75.0	-100.0	-21.4	-11.8	-29.4	-66.7	19.0
医療・福祉		-50.0	-61.9	-5.0	-5.3	-10.5	-44.4	38.9
その他のサービス業		-36.9	-67.6	-2.2	4.4	-15.4	-35.7	13.3
資本金別	1000万円未満	-45.0	-71.0	-6.3	-1.0	-26.0	-46.2	11.1
	1000～5000万円未満	-29.2	-65.8	-10.2	-3.9	-6.8	-29.2	3.7
	5000～1億円未満	-54.1	-68.9	4.5	26.2	-16.7	-45.1	-7.8
	1億円以上	-31.6	-71.7	2.4	31.3	0.0	-31.3	34.4
従業員数別	10人未満	-29.2	-67.0	-8.0	-5.4	-13.0	-30.0	16.0
	10～19人	-31.1	-74.7	-15.6	-1.3	-14.1	-37.2	-5.8
	20～49人	-41.6	-62.0	-11.1	3.8	-18.3	-48.2	-1.8
	50～99人	-33.9	-78.3	-5.8	10.7	0.0	-28.8	15.3
	100人以上	-47.6	-61.8	13.0	15.0	-10.0	-32.4	20.6
地域別	本島北部地区	-44.7	-77.1	-9.8	13.8	-2.6	-46.3	2.4
	本島中部地区	-18.7	-60.6	-6.8	30.0	-18.9	-25.2	6.9
	本島南部地区	-40.3	-67.6	-8.3	32.5	-13.8	-48.5	-16.2
	那覇地区	-53.3	-75.9	-11.3	-4.8	-11.0	-30.0	6.7
	離島地区	-50.0	-71.1	4.7	30.0	-35.0	-57.4	38.3

■ BSI 推移



(2)調査概要および調査対象について

沖縄県内景況や、企業経営の実態と見通しを把握し、今後の各企業の経営の参考情報として提供することを目的とする。

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

調査概要

項目	内容
調査対象	県内に本社所在地がある 2000 企業に発送した。 ただし調査対象有効企業数は宛先不明として返送されてきた 13 企業を除いた 1987 企業。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収 ※一部インターネットによる回答・回収
調査期間	2021年3月2日に調査票を発送し、3月25日到着分までを集計
回収状況	有効回収数：436通（有効回答率：21.9%）

弊社が取りまとめた、県内企業の各種 BSI（Business Survey Index）の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSI は景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSI がプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSI がマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

- ※ 本文中における、カッコ内()の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野の BSI を示す。
- ※ 調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比(パーセント計算)の和が 100.0 を超えるものがある。
- ※ 統計表において n はサンプル数を表す。

(3)主要調査結果

回答企業属性

回答企業総数は436社。構成比は、「その他のサービス業」が22.5%で最も多く、次いで「卸売・小売業」(17.0%)、「建設業」(16.1%)、「旅行・宿泊業」(13.1%)、「製造業」(9.9%)と続いた。

資本金別では「1000～5000万円未満」が49.5%で最も多くなっている。

従業員数別では「20～49人」が25.7%で最も多くなっている。

地域別では「中部地域」が36.5%で最も多くなっている。

■ 業種

項目	回答数 (n=436)	構成比 (%)
農業、林業、漁業	3	0.7
建設業	70	16.1
製造業	43	9.9
情報通信業	18	4.1
卸売・小売業	74	17.0
不動産業	32	7.3
旅行・宿泊業	57	13.1
飲食サービス業	21	4.8
医療、福祉	18	4.1
その他のサービス業	98	22.5
その他	2	0.5
無回答	0	0.0

■ 資本金

項目	回答数 (n=436)	構成比 (%)
1000万円未満	117	26.8
1000～5000万円未満	216	49.5
5000～1億円未満	51	11.7
1億円以上	32	7.3
無回答	20	4.6

■ 従業員数

項目	回答数 (n=436)	構成比 (%)
10人未満	100	22.9
10~19人	86	19.7
20~49人	112	25.7
50~99人	59	13.5
100人以上	68	15.6
無回答	11	2.5

■ 地域

項目	回答数 (n=436)	構成比 (%)
北部	41	9.4
中部	159	36.5
南部	68	15.6
那覇	120	27.5
離島	47	10.8
無回答	1	0.2

■ 売上先マーケット

項目	回答数 (n=436)	構成比 (%)
県内売上50%以上	345	79.1
県外売上50%以上	93	21.3
海外売上20%以上	13	3.0
無回答	2	0.5

■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較)BSI **全体** **実績**

- 1-3月期景況BSIは-35.8で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、一方、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は「過大」超、臨時・パート数は「減少」超の一方、従業員数は「不足気味」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要が共に「下降」超となっている。



■ 4-6月期の見通し(2020年10-12月比較)BSI **全体** **見通し**

- 4-6月期の景況見通しは6.2で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は「不足気味」超の一方、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超、一方、海外需要は「下降」超となっている。



■ 1-3月期の景況判断要因(2020年10-12月期との比較) 全体 景況判断要因

- 1-3月期の景況について「上昇」とした67社における景況上昇の要因は、県内需要が85.1%で最も多く、県外需要(26.9%)が続いた。

1-3月期景況の上昇要因

項目	回答数 (n=67)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	57	85.1
県外需要(売上)の動向	18	26.9
海外需要(売上)の動向	0	0.0
販売価格の動向	6	9.0
仕入れ価格の動向	9	13.4
仕入れ以外のコストの動向	3	4.5
資金繰り・資金調達の動向	3	4.5
株式・不動産等の資産価格の動向	2	3.0
為替レートの動向	0	0.0
その他	2	3.0
無回答	0	0.0

- 「下降」とした223社における景況下降の要因は、県内需要が76.7%で最も多く、県外需要(44.8%)が続いた。

1-3月期景況の下降要因

項目	回答数 (n=223)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	171	76.7
県外需要(売上)の動向	100	44.8
海外需要(売上)の動向	33	14.8
販売価格の動向	28	12.6
仕入れ価格の動向	27	12.1
仕入れ以外のコストの動向	13	5.8
資金繰り・資金調達の動向	22	9.9
株式・不動産等の資産価格の動向	2	0.9
為替レートの動向	2	0.9
その他	20	9.0
無回答	2	0.9

■ 4-6月期の景況見通し判断要因(1-3月期との比較) 全体 景況見通し判断要因

- 4-6月期の見通しを「上昇」とした124社における上昇要因は、県内需要が79.8%で最も多く、県外需要(37.9%)が続いた。

4-6月期景況の見通し: 上昇要因

項目	回答数 (n=124)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	99	79.8
県外需要(売上)の動向	47	37.9
海外需要(売上)の動向	3	2.4
販売価格の動向	16	12.9
仕入れ価格の動向	10	8.1
仕入れ以外のコストの動向	3	2.4
資金繰り・資金調達の動向	7	5.6
株式・不動産等の資産価格の動向	0	0.0
為替レートの動向	0	0.0
その他	10	8.1
無回答	0	0.0

- 「下降」とした97社における下降要因は、県内需要が82.5%で最も多く、県外需要(36.1%)、販売価格の動向(20.6%)が続いた。

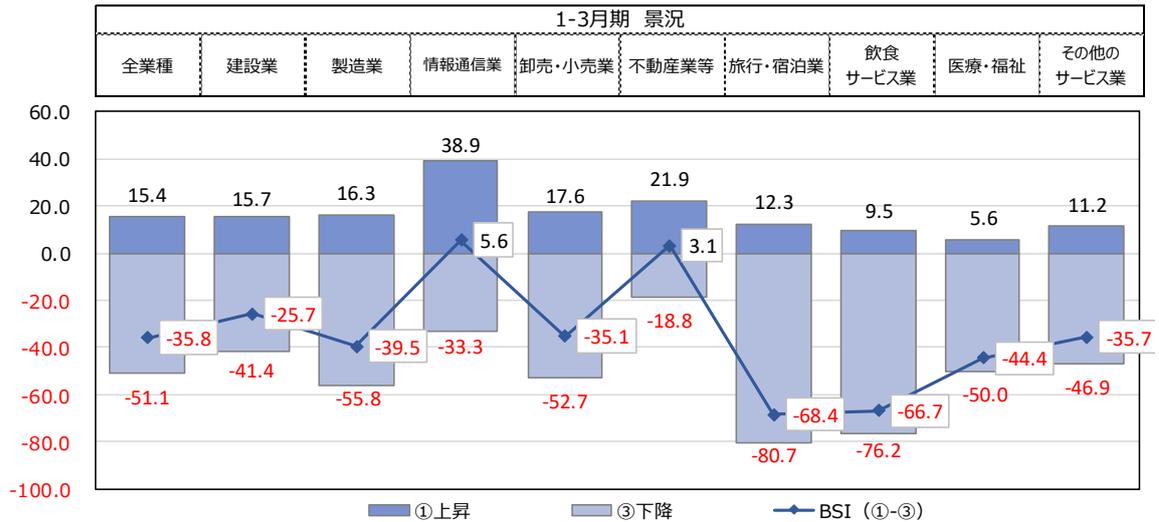
4-6月期景況の見通し: 下降要因

項目	回答数 (n=97)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	80	82.5
県外需要(売上)の動向	35	36.1
海外需要(売上)の動向	12	12.4
資金繰り・資金調達の動向	13	13.4
販売価格の動向	20	20.6
仕入れ価格の動向	9	9.3
仕入れ以外のコストの動向	10	10.3
株式・不動産等の資産価格の動向	2	2.1
為替レートの動向	1	1.0
その他	3	3.1
無回答	0	0.0

【主要業種別 BSI】

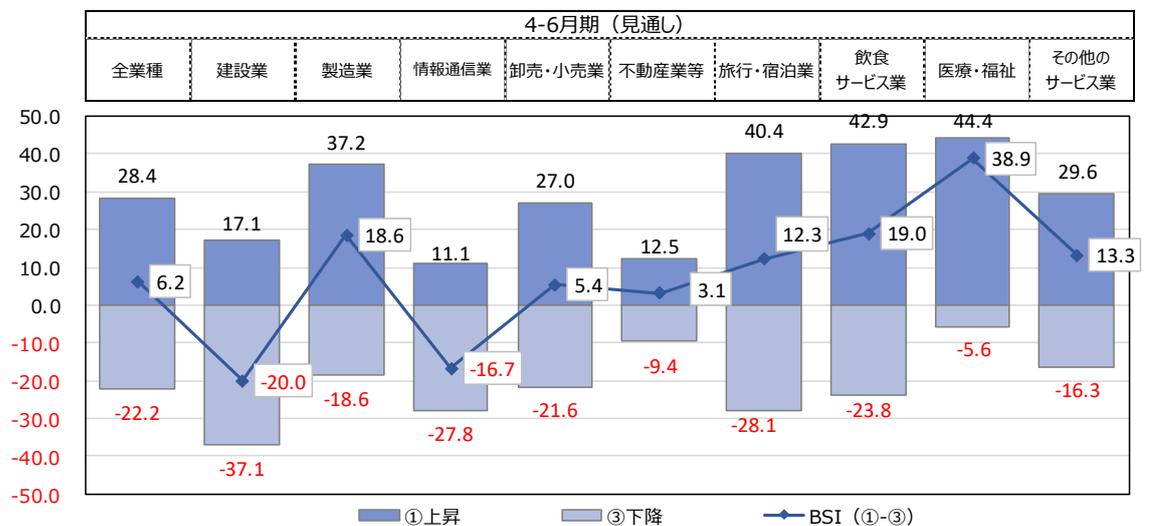
■ 1-3 月期の現状(2020年10-12月比較) **主要業種別** **実績**

- 全体では、-35.8で「下降」超となっている。
- 「上昇」超は、情報通信業(5.6)、不動産業等(3.1)となっている。
- 「下降」超は、旅行・宿泊業(-68.4)、飲食サービス業(-66.7)、医療・福祉(-44.4)、製造業(-39.5)、その他のサービス業(-35.7)、卸売・小売業(-35.1)、建設業(-25.7)となっている。



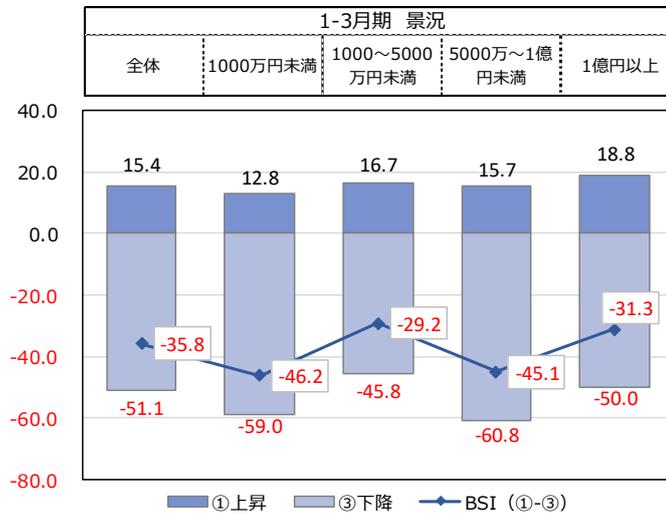
■ 4-6 月期の見通し(1-3月比較) **主要業種別** **見通し**

- 全体では、6.2で「上昇」超となっている。
- 「上昇」超は、医療・福祉(38.9)、飲食サービス業(19.0)、製造業(18.6)、その他のサービス業(13.3)、旅行・宿泊業(12.3)、卸売・小売業(5.4)、不動産業等(3.1)となっている。
- 「下降」超は、建設業(-20.0)、情報通信業(-16.7)となっている。



■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **資本金別** **実績**

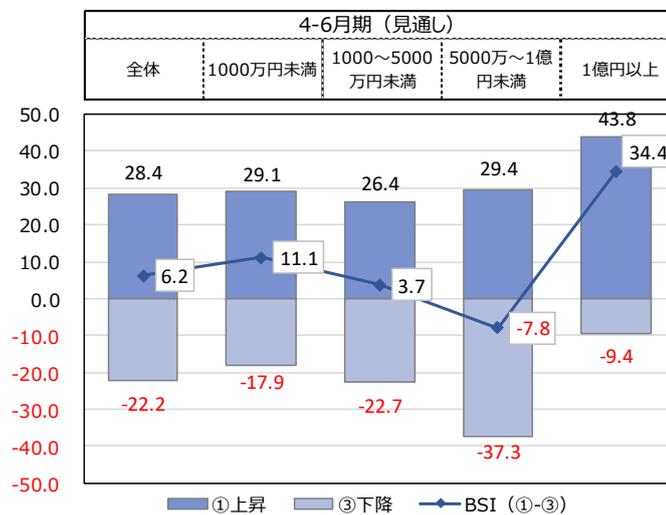
➤ 1-3月期の景況は、資本金規模に関わらず、全体として「下降」超となっている。



■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **資本金別** **見通し**

➤ 4-6月期の見通しは、5000万~1億円のみ「下降」超となっている。

➤ 1億円以上で34.4となっており、上昇幅が大きくなっている。



■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **従業員数別** **実績**

➤ 1-3月期の景況は、従業員規模に関わらず、全体として「下降」超となっている。



■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **従業員数別** **見通し**

➤ 4-6月期の見通しは、10~49人において「下降」超。その他は「上昇」超となっている。



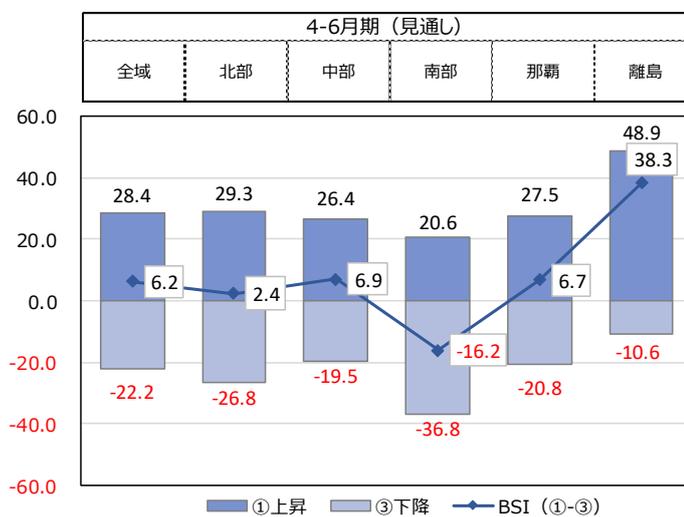
■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **地域別** **実績**

➤ 1-3月期の景況は、全地域で「下降」超となっている。



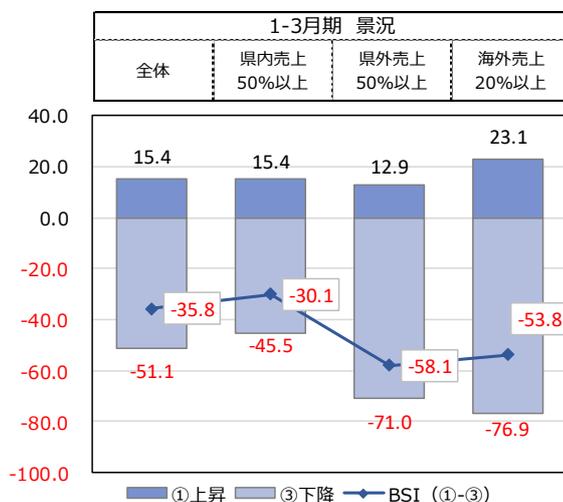
■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **地域別** **見通し**

➤ 4-6月期の景況見通しは、南部のみ「下降」超。その他の地域では「上昇」超となっている。



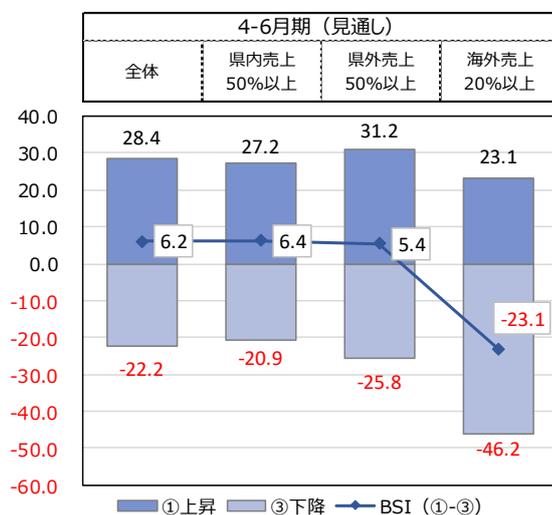
■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **売上先マーケット別** **実績**

➤ 1-3月期の景況は、売上先マーケットに関わらず、全体として「下降」超となっている。



■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **売上先マーケット別** **見通し**

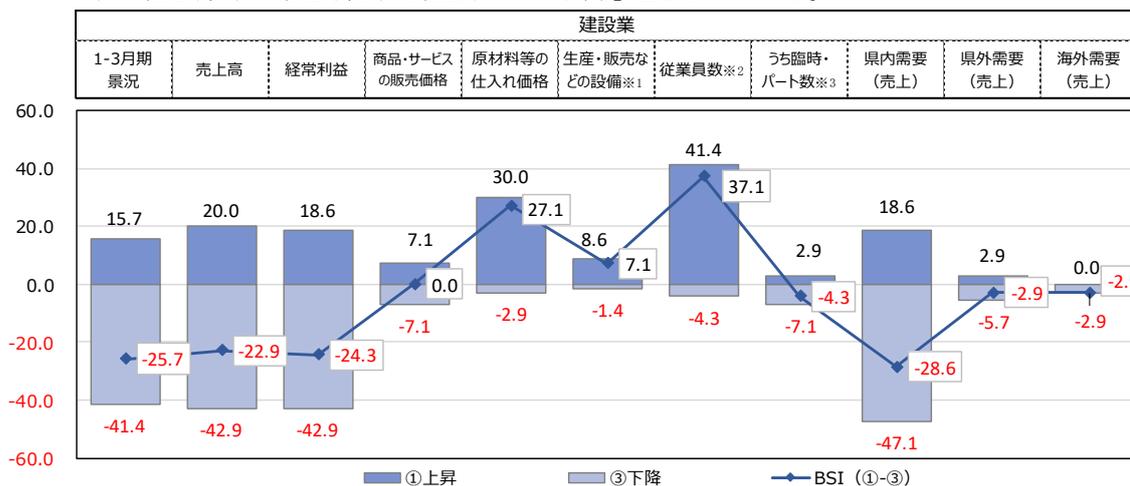
➤ 4-6月期の景況見通しは、海外売上20%以上のみ「下降」超。その他はすべて「上昇」超となっている。



【主要業種別集計】

■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **建設業** **実績**

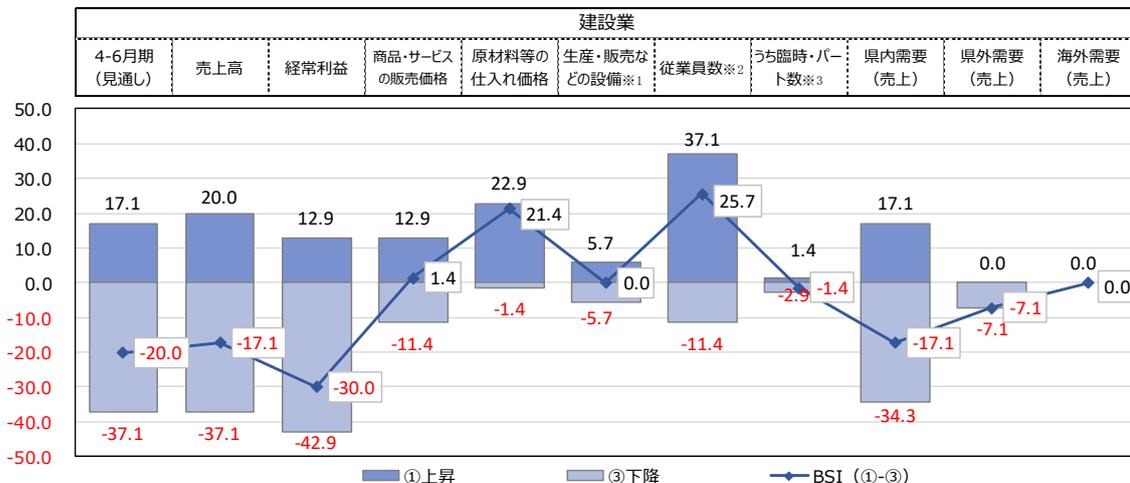
- 1-3月期の景況は-25.7で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は0.0、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足気味」超、一方、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「下降」超となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **建設業** **見通し**

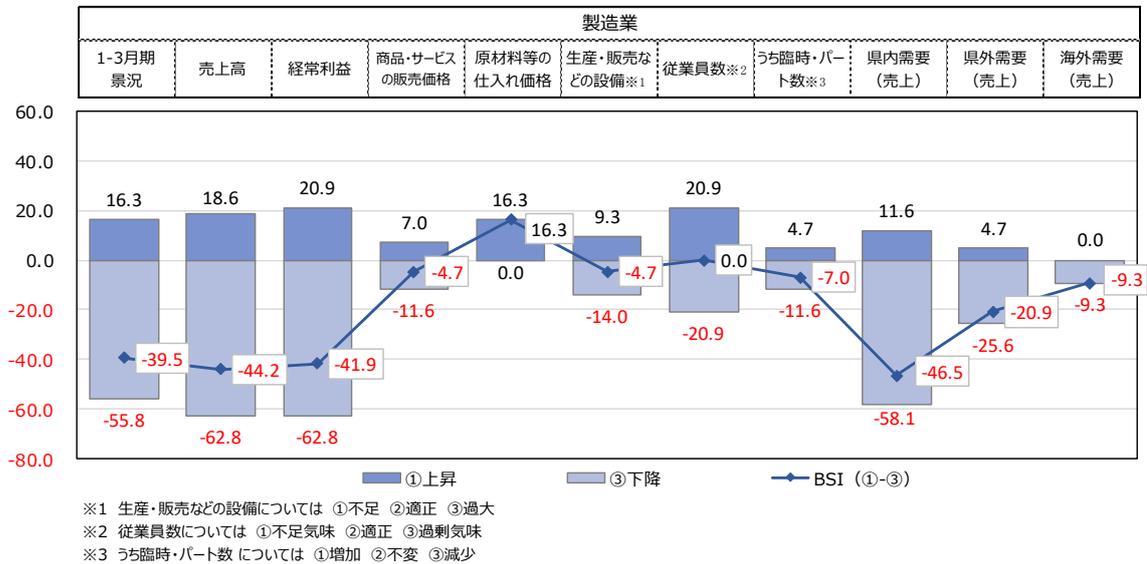
- 4-6月期の景況見通しは-20.0で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「上昇」超となっている。
- 設備は0.0、従業員数は「不足気味」超、一方、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要共に「下降」超。海外需要は0.0となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

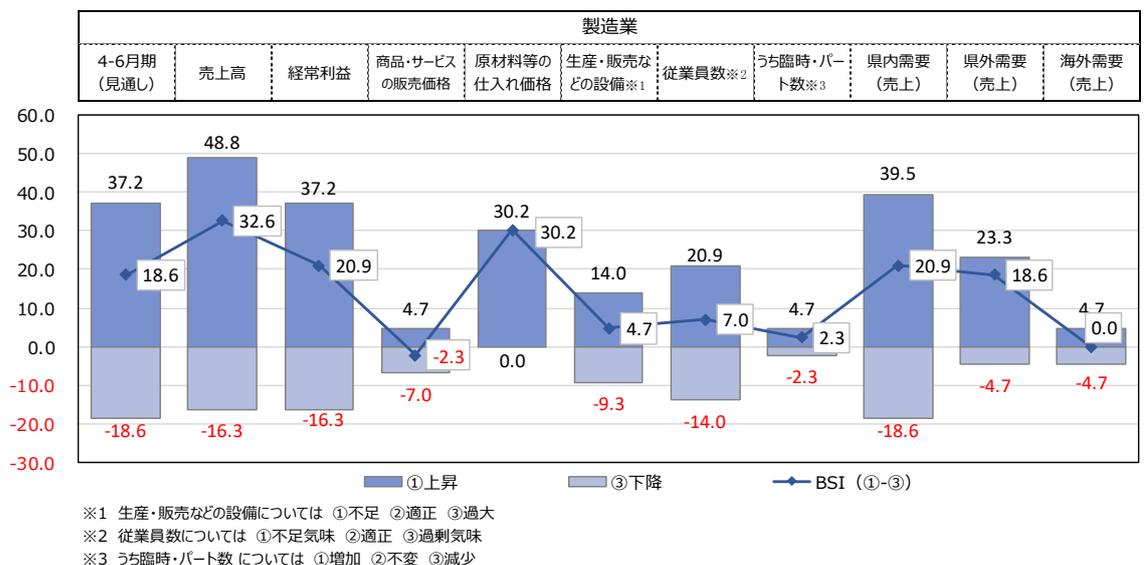
■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **製造業** **実績**

- 1-3月期の景況は39.5で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は「過大」超、従業員数は0.0、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「下降」超となっている。



■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **製造業** **見通し**

- 4-6月期の景況見通しは18.6で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は「不足気味」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要共に「上昇」超。海外需要共は0.0となっている。



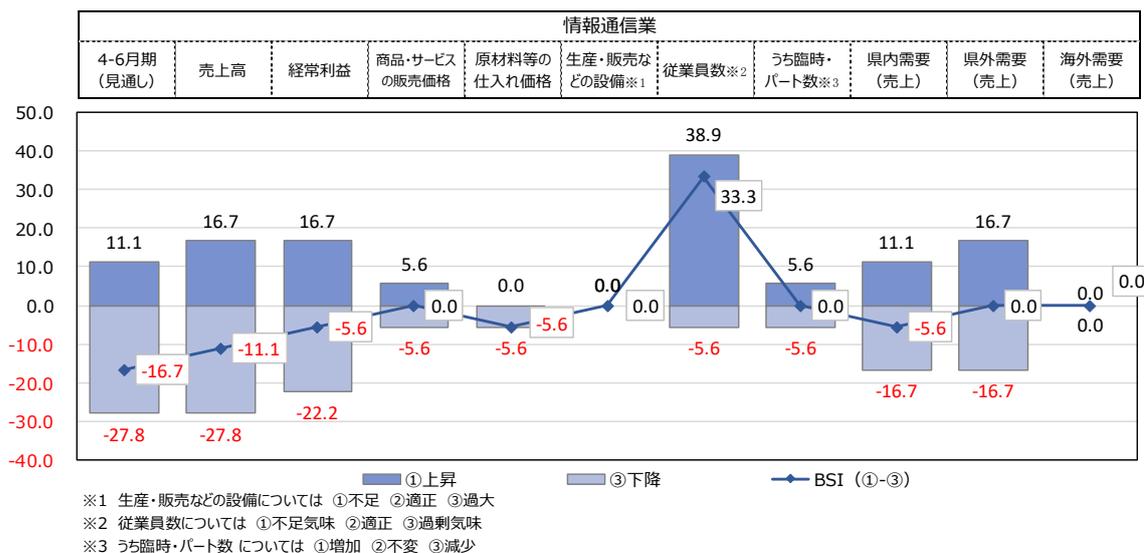
■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **情報通信業** **実績**

- 1-3月期の景況は5.6で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格は共に0.0となっている。
- 設備は0.0、従業員数は大きく「不足気味」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要は「上昇」超、一方、県外需要は「下降」超。海外需要は0.0となっている。



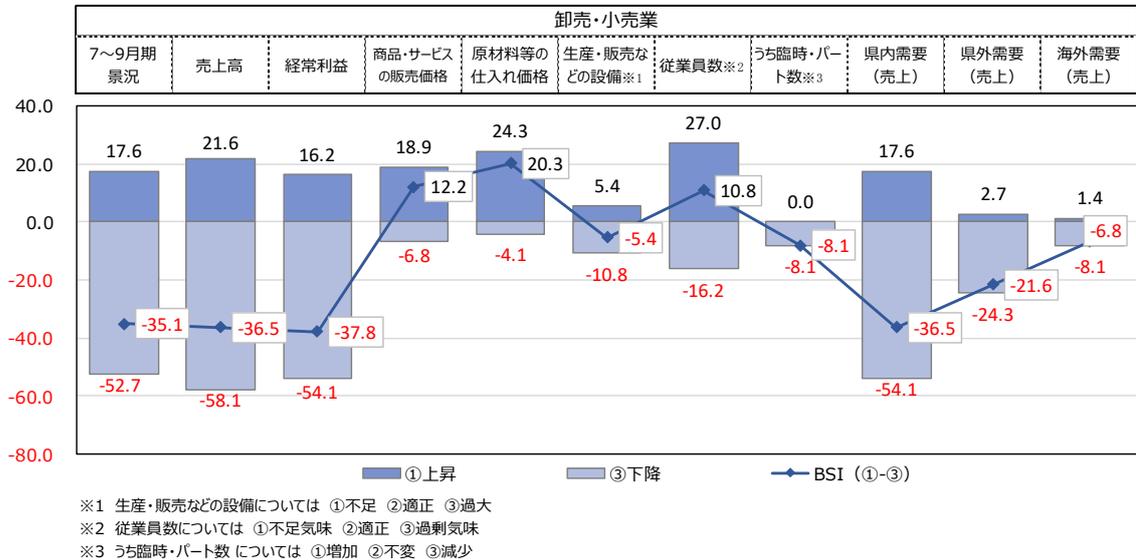
■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **情報通信業** **見通し**

- 4-6月期の景況見通しは-16.7で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は0.0、仕入れ価格は「下降」超となっている。
- 設備は0.0、従業員数は大きく「不足気味」超、臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要は「下降」超。県外需要、海外需要は共に0.0となっている。



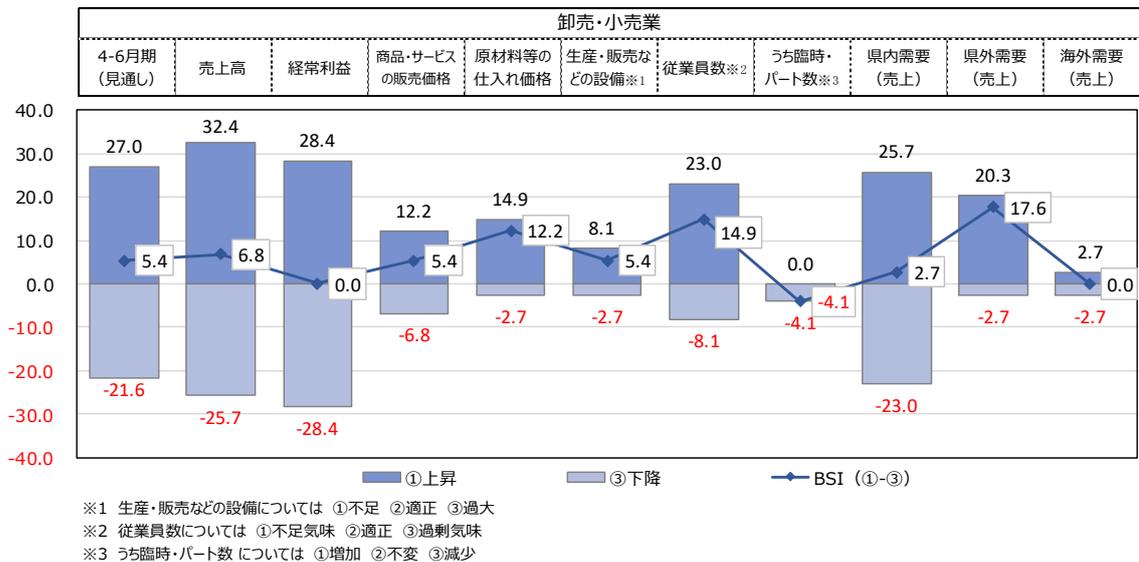
■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **卸売・小売業** **実績**

- 1-3月期の景況は-35.1で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「上昇」超となっている。
- 設備は「過大」超、従業員数はやや「不足気味」超、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「下降」超となっている。



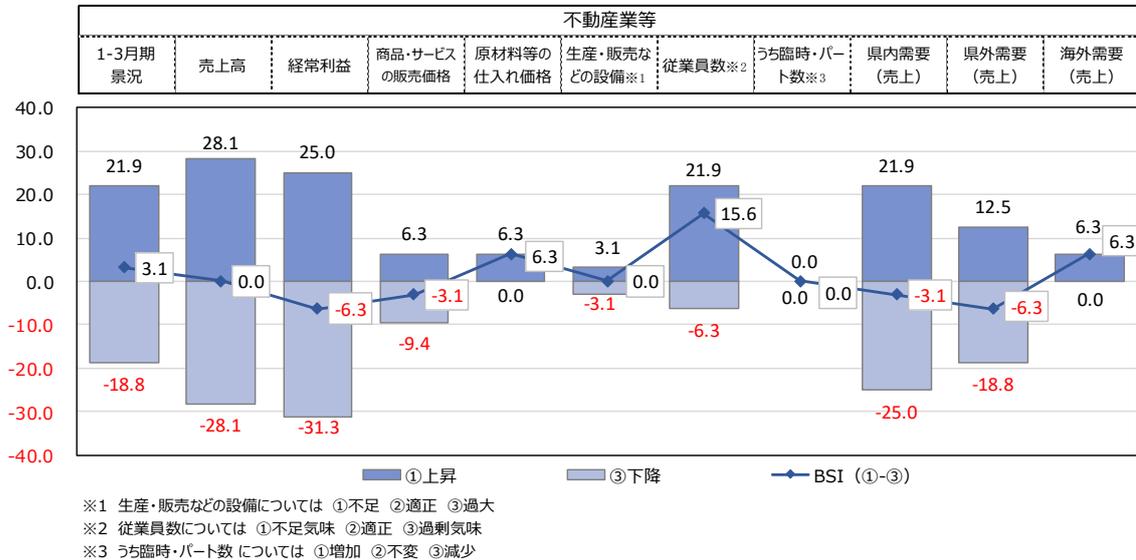
■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **卸売・小売業** **見通し**

- 4-6月期の景況見通しは5.4で「上昇」超。売上高は「上昇」超だが、経常利益は0.0となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数も「不足気味」超、一方、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超、海外需要は0.0となっている。



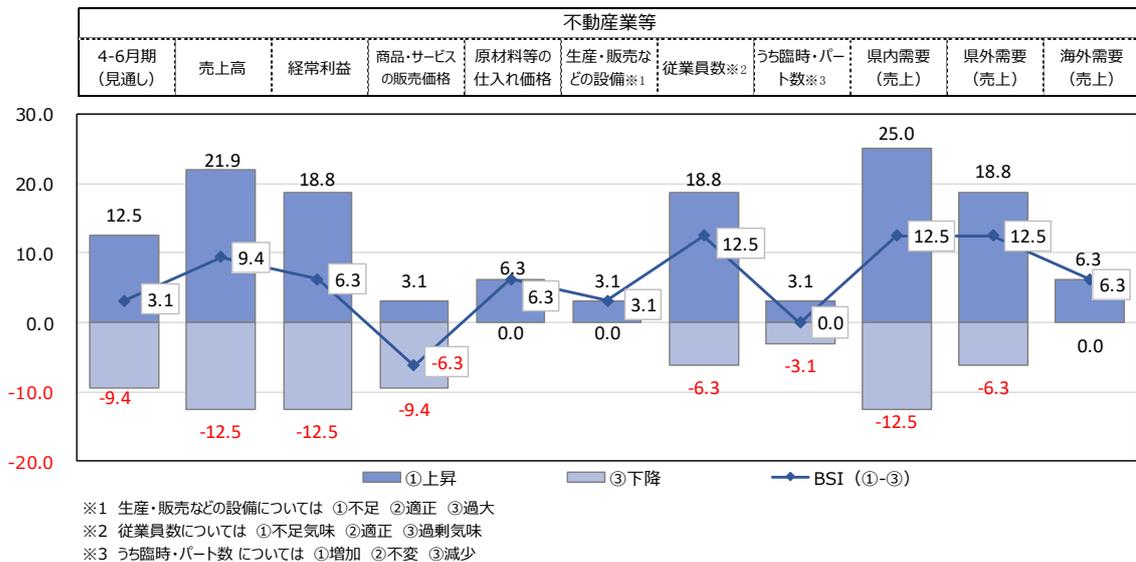
■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **不動産業等** **実績**

- 1-3月期の景況は3.1で「上昇」超。売上高は0.0、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は0.0、従業員数は「不足気味」超、臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「下降」超、一方、海外需要は「上昇」超となっている。



■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **不動産業等** **見通し**

- 4-6月期の景況見通しは3.1で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は「不足気味」超、臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **旅行・宿泊業** **実績**

- 1-3月期の景況は-68.4で、大きく「下降」超。売上高、経常利益も共に大きく「下降」超となっている。
- 販売価格は「下降」超。仕入れ価格もやや「下降」超となっている。
- 施設は「過大」超、従業員数は「過剰気味」超、臨時・パート数も「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「下降」超となっている。



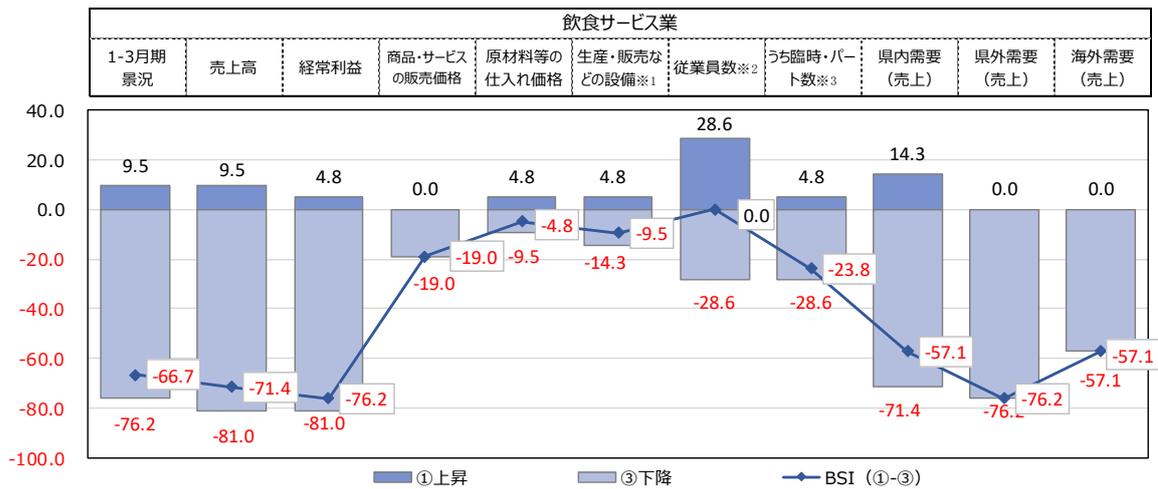
■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **旅行・宿泊業** **見通し**

- 4-6月期の景況見通しは12.3で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「上昇」超となっている。
- 設備は「過大」超、従業員数は「過剰気味」超、臨時・パート数も「減少」超となっている。
- 県内需要、海外需要は「上昇」超。県外需要は「下降」超となっている。



■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **飲食サービス業** **実績**

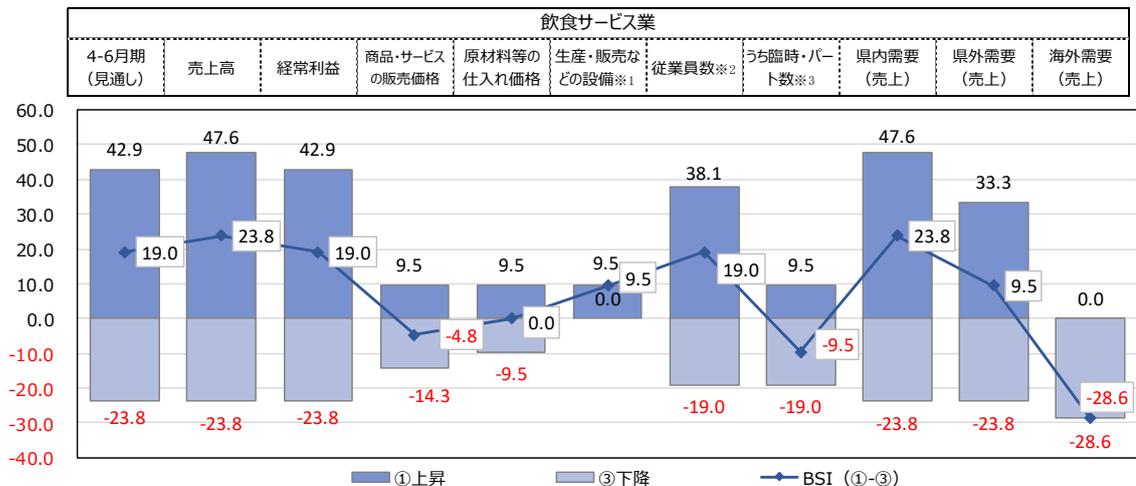
- 1-3月期の景況は-66.7で大きく「下降」超。売上高、経常利益共に大きく「下降」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「下降」超となっている。
- 設備は「過大」超、従業員数は0.0、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、海外需要、県外需要共に「下降」超となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **飲食サービス業** **見通し**

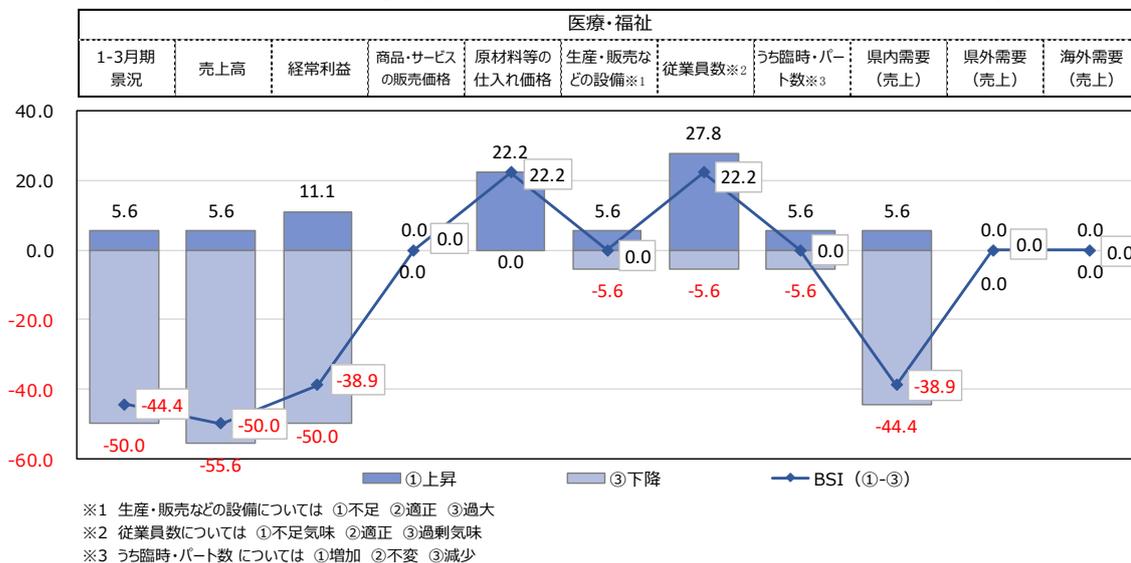
- 4-6月期の景況見通しは19.0で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は0.0となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は「不足気味」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、海外需要は「上昇」超。県外需要は「下降」超となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

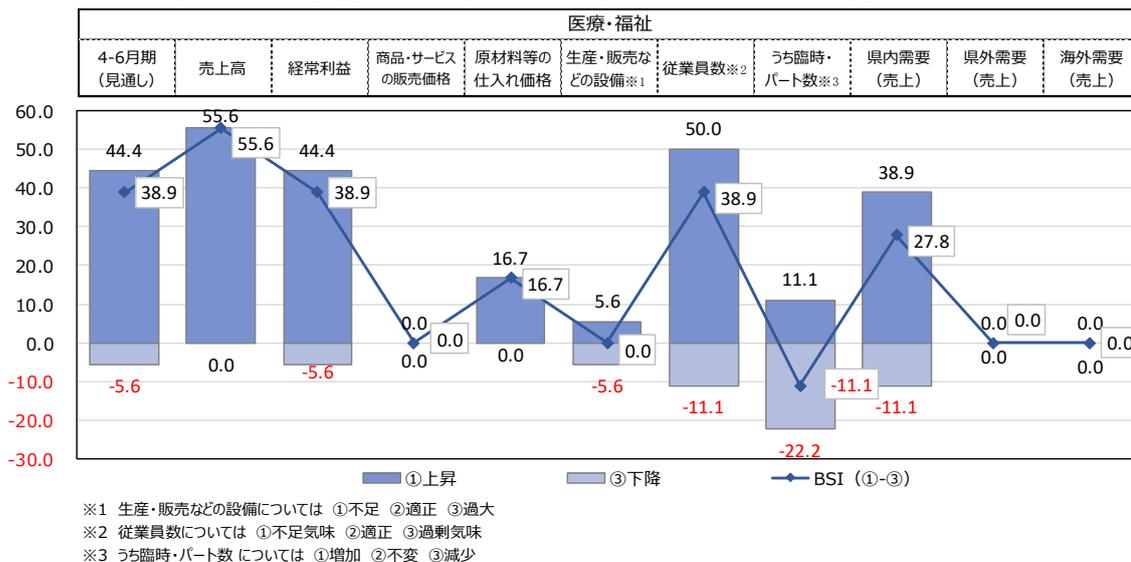
■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **医療・福祉** **実績**

- 1-3月期の景況は-44.4で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は0.0、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は0.0、従業員数は「不足気味」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要が大きく「下降」超。県外需要、海外需要は共に0.0となっている。



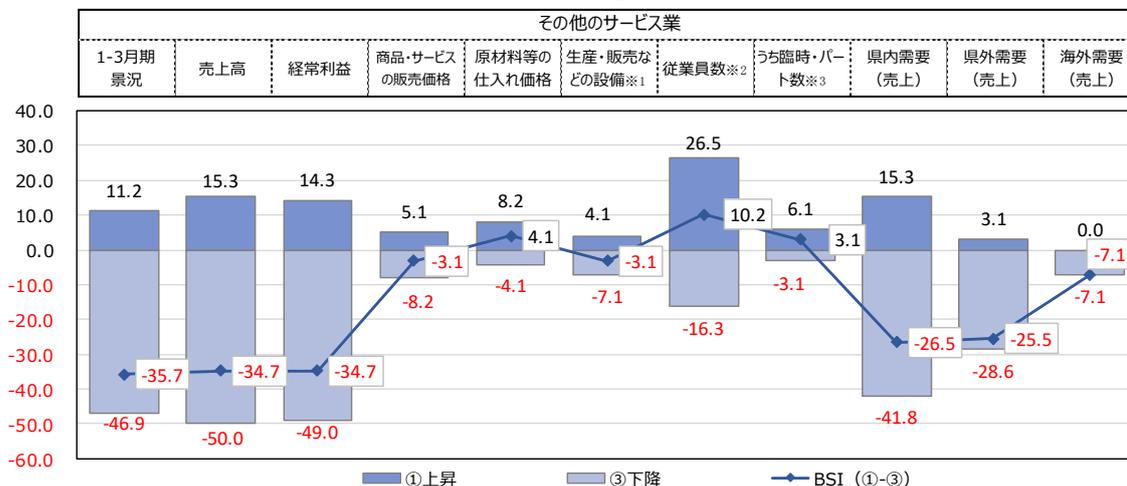
■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **医療・福祉** **見通し**

- 4-6月期の見通しは38.9で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は0.0、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は0.0。従業員数は大きく「不足気味」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要は「上昇」超。県外需要、海外需要は0.0となっている。



■ 1-3月期の現状(2020年10-12月比較) **その他のサービス業** **実績**

- 1-3月期の景況は-35.7で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備は「過大」超、従業員数は「不足気味」超、パート数は「増加」超となっている。
- 県外需要、県内需要、海外需要共に「下降」超となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 4-6月期の見通し(1-3月比較) **その他のサービス業** **見通し**

- 4-6月期の景況見通しは13.3で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は「不足気味」超、臨時・パート数は「下降」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超。海外需要は「下降」超となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

主要業種別・項目別 BSI 一覧表

■全体BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	1-3月期	4-6月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	4.7	12.3	-1.4	-36.9	-68.2	-7.3	3.5	-11.9	-35.8	6.2
売上高	5.8	19.4	4.1	-29.3	-66.7	-7.5	5.7	-11.7	-35.8	12.2
経常利益	0.0	12.5	-2.5	-31.8	-65.5	-17.2	-5.7	-14.1	-36.7	5.5
商品・サービスの販売価格	10.7	8.3	9.3	-5.1	-18.8	-8.7	-1.5	-3.2	-4.6	3.4
原材料等の仕入れ価格	27.3	22.8	26.9	13.7	2.2	7.5	13.9	6.5	11.2	12.2
生産・販売などの設備	9.4	11.1	12.9	4.2	-6.5	-0.7	4.5	3.2	-3.7	2.3
従業員数	47.1	50.4	44.5	32.8	-2.9	5.0	20.1	16.4	9.2	16.1
うち臨時・パート	0.6	1.4	1.1	-2.2	-5.6	-4.5	-3.0	-2.5	-6.2	-3.4
県内需要(売上)	5.0	10.3	2.5	-29.8	-61.3	-8.3	2.0	-7.9	-31.9	6.9
県外需要(売上)	7.2	6.6	-2.7	-28.1	-34.5	-10.1	7.9	-10.2	-25.7	10.3
海外需要(売上)	1.9	-2.3	-7.1	-23.2	-23.5	-10.6	-6.9	-6.9	-10.3	-4.4

■建設業BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	1-3月期	4-6月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	8.2	3.8	12.1	-1.3	-53.6	-12.3	-19.6	-1.8	-25.7	-20.0
売上高	0.0	5.7	15.5	1.3	-58.0	-9.2	-3.6	1.8	-22.9	-17.1
経常利益	-6.6	3.8	5.2	-4.0	-59.4	-12.3	-12.5	-3.6	-24.3	-30.0
商品・サービスの販売価格	8.2	9.4	10.3	5.3	-14.5	-3.1	-1.8	-5.4	0.0	1.4
原材料等の仕入れ価格	26.2	28.3	27.6	21.3	8.7	10.8	21.4	17.9	27.1	21.4
生産・販売などの設備	8.2	11.3	19.0	9.3	1.4	7.7	7.1	7.1	7.1	0.0
従業員数	57.4	64.2	53.4	56.0	26.1	32.3	46.4	44.6	37.1	25.7
うち臨時・パート	6.6	1.9	3.4	6.7	2.9	-1.5	1.8	1.8	-4.3	-1.4
県内需要(売上)	1.6	9.4	10.3	-4.0	-53.6	-18.5	-12.5	1.8	-28.6	-17.1
県外需要(売上)	6.6	1.9	3.4	-4.0	-7.2	-1.5	1.8	-5.4	-2.9	-7.1
海外需要(売上)	0.0	-1.9	0.0	-2.7	-1.4	-1.5	0.0	0.0	-2.9	0.0

■製造業BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	1-3月期	4-6月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	5.3	20.9	8.2	-60.5	-83.3	-26.5	31.7	-14.6	-39.5	18.6
売上高	18.4	27.9	22.4	-60.5	-83.3	-22.4	39.0	-12.2	-44.2	32.6
経常利益	7.9	25.6	0.0	-51.2	-77.1	-36.7	24.4	-12.2	-41.9	20.9
商品・サービスの販売価格	7.9	0.0	12.2	-7.0	-14.6	-2.0	2.4	-4.9	-4.7	-2.3
原材料等の仕入れ価格	39.5	46.5	40.8	20.9	12.5	16.3	22.0	19.5	16.3	30.2
生産・販売などの設備	2.6	9.3	6.1	2.3	-22.9	-8.2	12.2	2.4	-4.7	4.7
従業員数	26.3	41.9	34.7	27.9	-10.4	0.0	17.1	4.9	0.0	7.0
うち臨時・パート	-2.6	-2.3	-2.0	-2.3	-2.1	-12.2	-4.9	0.0	-7.0	2.3
県内需要(売上)	7.9	16.3	8.2	-65.1	-70.8	-14.3	31.7	-12.2	-46.5	20.9
県外需要(売上)	5.3	14.0	0.0	-44.2	-41.7	-12.2	12.2	-12.2	-20.9	18.6
海外需要(売上)	0.0	4.7	0.0	-11.6	-22.9	-14.3	2.4	-2.4	-9.3	0.0

■情報通信業BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	1-3月期	4-6月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	0.0	5.9	0.0	5.6	-41.2	-5.9	0.0	-7.1	5.6	-16.7
売上高	-5.9	-5.9	6.3	5.6	-35.3	-11.8	0.0	-7.1	11.1	-11.1
経常利益	-11.8	-17.6	-12.5	0.0	-41.2	-5.9	-7.1	-7.1	16.7	-5.6
商品・サービスの販売価格	11.8	0.0	0.0	0.0	-5.9	-11.8	-7.1	-7.1	0.0	0.0
原材料等の仕入れ価格	11.8	0.0	12.5	11.1	5.9	0.0	-14.3	-14.3	0.0	-5.6
生産・販売などの設備	29.4	11.8	12.5	0.0	5.9	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0
従業員数	64.7	70.6	68.8	77.8	-5.9	17.6	42.9	35.7	33.3	33.3
うち臨時・パート	5.9	11.8	6.3	16.7	0.0	5.9	7.1	-7.1	0.0	0.0
県内需要(売上)	5.9	0.0	0.0	-11.1	-41.2	-5.9	14.3	14.3	11.1	-5.6
県外需要(売上)	-11.8	-17.6	18.8	-5.6	-29.4	-17.6	-7.1	-7.1	-11.1	0.0
海外需要(売上)	-5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-7.1	0.0	0.0

■卸売・小売業BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 (見通し)	1-3月期 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	-3.0	25.8	-8.2	-34.7	-64.6	4.7	-5.1	-3.8	-35.1	5.4
売上高	0.0	33.3	0.0	-29.3	-61.0	1.2	-2.6	-9.0	-36.5	6.8
経常利益	-4.5	25.8	-1.6	-30.7	-54.9	-3.5	-15.4	-11.5	-37.8	0.0
商品・サービスの販売価格	9.0	10.6	18.0	2.7	-9.8	-2.4	6.4	6.4	12.2	5.4
原材料等の仕入れ価格	25.4	9.1	29.5	17.3	-2.4	12.9	20.5	14.1	20.3	12.2
生産・販売などの設備	6.0	13.6	11.5	6.7	0.0	1.2	3.8	5.1	-5.4	5.4
従業員数	49.3	50.0	47.5	36.0	12.2	8.2	21.8	17.9	10.8	14.9
うち臨時・パート	0.0	-6.1	9.8	-2.7	-4.9	-8.2	-2.6	-3.8	-8.1	-4.1
県内需要(売上)	-1.5	13.6	-3.3	-28.0	-56.1	-1.2	0.0	3.8	-36.5	2.7
県外需要(売上)	3.0	7.6	-3.3	-18.7	-30.5	-3.5	5.1	-7.7	-21.6	17.6
海外需要(売上)	4.5	6.1	-1.6	-24.0	-25.6	-7.1	-5.1	-2.6	-6.8	0.0

■不動産業等BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 (見通し)	1-3月期 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	11.8	-5.9	-15.6	-16.1	-44.4	-16.1	-24.2	0.0	3.1	3.1
売上高	8.8	2.9	0.0	9.7	-38.9	-22.6	-24.2	6.1	0.0	9.4
経常利益	-2.9	-8.8	-6.3	-6.5	-44.4	-29.0	-27.3	0.0	-6.3	6.3
商品・サービスの販売価格	11.8	0.0	6.3	6.5	-11.1	-12.9	-15.2	-6.1	-3.1	-6.3
原材料等の仕入れ価格	35.3	23.5	9.4	12.9	5.6	-3.2	0.0	0.0	6.3	6.3
生産・販売などの設備	17.6	5.9	9.4	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.1
従業員数	29.4	14.7	18.8	22.6	8.3	9.7	6.1	12.1	15.6	12.5
うち臨時・パート	2.9	0.0	-3.1	0.0	-2.8	-3.2	3.0	0.0	0.0	0.0
県内需要(売上)	11.8	-8.8	-12.5	0.0	-41.7	-22.6	-12.1	0.0	-3.1	12.5
県外需要(売上)	5.9	0.0	-9.4	-9.7	-25.0	-9.7	0.0	0.0	-6.3	12.5
海外需要(売上)	0.0	-14.7	-3.1	-12.9	-8.3	-6.5	-3.0	0.0	6.3	6.3

■旅行・宿泊業BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 (見通し)	1-3月期 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	20.0	20.8	-67.7	-91.1	-100.0	-7.0	42.2	-33.3	-68.4	12.3
売上高	26.7	37.5	-67.7	-84.4	-95.6	-7.0	42.2	-40.0	-66.7	21.1
経常利益	23.3	33.3	-67.7	-86.7	-93.3	-23.3	26.7	-40.0	-70.2	17.5
商品・サービスの販売価格	23.3	37.5	-25.8	-46.7	-53.3	-34.9	-11.1	-28.9	-35.1	14.0
原材料等の仕入れ価格	33.3	45.8	38.7	6.7	-8.9	0.0	11.1	-15.6	-1.8	3.5
生産・販売などの設備	6.7	8.3	12.9	0.0	-13.3	-20.9	-2.2	-4.4	-17.5	-1.8
従業員数	43.3	50.0	48.4	-13.3	-53.3	-44.2	-17.8	-17.8	-33.3	-5.3
うち臨時・パート	-10.0	12.5	-19.4	-20.0	-17.8	-23.3	-8.9	-4.4	-24.6	-12.3
県内需要(売上)	13.3	20.8	-38.7	-64.4	-88.9	-9.3	15.6	-33.3	-45.6	7.0
県外需要(売上)	23.3	33.3	-54.8	-84.4	-84.4	-30.2	35.6	-26.7	-68.4	14.0
海外需要(売上)	0.0	-33.3	-58.1	-82.2	-68.9	-37.2	-22.2	-20.0	-29.8	-24.6

■飲食サービス業BSI

時期	2019年			2020年				2021年		
	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 (見通し)	1-3月期 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	-7.7	30.0	-6.7	-75.0	-100.0	-21.4	-11.8	-29.4	-66.7	19.0
売上高	-7.7	50.0	-26.7	-58.3	-100.0	0.0	-41.2	-35.3	-71.4	23.8
経常利益	-7.7	40.0	-20.0	-66.7	-100.0	-28.6	-58.8	-35.3	-76.2	19.0
商品・サービスの販売価格	23.1	10.0	6.7	-8.3	-11.8	-7.1	0.0	-5.9	-19.0	-4.8
原材料等の仕入れ価格	23.1	30.0	33.3	8.3	5.9	7.1	23.5	0.0	-4.8	0.0
生産・販売などの設備	15.4	20.0	26.7	-8.3	-17.6	-14.3	5.9	5.9	-9.5	9.5
従業員数	76.9	70.0	33.3	-8.3	-47.1	-57.1	11.8	5.9	0.0	19.0
うち臨時・パート	-15.4	-10.0	0.0	-8.3	-17.6	-7.1	-17.6	-11.8	-23.8	-9.5
県内需要(売上)	-15.4	10.0	6.7	-25.0	-88.2	-7.1	-17.6	-11.8	-57.1	23.8
県外需要(売上)	7.7	20.0	-13.3	-58.3	-76.5	-21.4	-29.4	-29.4	-76.2	9.5
海外需要(売上)	7.7	-10.0	-26.7	-66.7	-76.5	-50.0	-35.3	-29.4	-57.1	-28.6

2 各業界別総評

県内の業界別等の概要は以下のとおりである。

観光関連〔「下降」超、見通しは「上昇」超も限定的〕

観光関連の今期(1-3月)の観光関連の景況判断BSIは-68.4となり、前期実績(2020年10-12月実績、42.2)から大幅に下降した。2020年12月からGoToトラベル事業が停止となっているほか、県独自の緊急事態宣言(1月20日~2月末)もあり、業況が再度、一気に後退した。入域観光客数は1月、2月ともに前年比8割減少の10万人台まで落ち込んでいる。

市場環境は非常に厳しく、コロナの感染状況に業況が左右される事態が1年以上にわたり続いている。旅行社や宿泊施設は、自力での集客が困難で、多くが彩発見キャンペーンなど行政の施策頼みとなっている。こうした施策による売上への寄与はあるものの、予算が限定的で恩恵をほとんど受けられない企業も多くある状況だ。また、GoTo再開の見通しも立たず、ゴールデンウィークの予約状況もまちまちで、先行きも見通しにくくなっている。こうした状況から企業の一層の疲弊が懸念される。不採算事業所の撤退など経営縮小の動きは、今後さらに加速する可能性がある。

アンケートでは売上、経常利益が大きく下降を示しただけでなく、商品・サービスの販売価格の下降も目立った。わずかなパイの取り合いで価格競争も発生している状況だ。ヒアリングでは、ホテル単価は2008年頃の水準まで落ち、消費者が低価格に慣れてしまったために、単価は簡単には戻らないとの懸念が聞かれた。

雇用状況も厳しく、前期に引き続き3割以上の企業が従業員を「余剰」としている。

4-6月期の景況見通しは12.3で「上昇」超。緊急事態宣言解除やGoTo再開への期待もあり、業況改善は見込まれるものの、企業においては市況に対する警戒感が根強く、上昇幅は限定的となっている。

建設・不動産関連〔建設は実績、見通しともに「下降」超、不動産は「上昇」超〕

建設・不動産関連の今期(1-3月)の景況判断BSIは建設業-25.7で「下降」超、不動産3.1で「上昇」超となっている。継続する新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、民間工事の延期、民間工事を主にしてきた事業者の公共工事への参入などで業界全体で売上、利益ともに落ち込んでいる。

建設業に関し、12-2月の県内需要を見ると、工事予定額ベースで居住は12月と2月が前年割れ、1月は前年超えとなっている。非居住は12月まで4カ月連続で前年割れだったが、1、2月は反転し、前年比で100%以上の増となっている。建築着工全体としては工事予定額ベースで12月が前年同月比28.8%減、1月が同63.9%増、2月が同50.9%増と回復の兆しが見られる。

ヒアリングやアンケートでは「今年になって現場数が少なくなってきた。前年の3分の1ぐらいしか売上が上がらなくなってきた」「今年に入り状況は良くなってきているが、まだまだ先が見えない状況だ。工期の延長で新たな営業ができず、来期の業務の確保が心配だ」と先行きの不透明感を感じさせる意見が上がっていた。

売上が落ち込んでいるにも関わらず、人手不足感は全業種の中で最も強く出ていて、深刻な状況が続いている。

不動産業に関し、共同住宅の新規着工落ち込みと連動し、賃貸市場に新規物件が投入されず、賃貸・管理では新規成約数が若干落ち込む傾向にある。売買に関しても、県外客との面談が延期・中止になるなどして、取引量が落ち込んでいる。地価下落に対しては「取引は低迷しているものの、土地の値段が下がらない」「落ち込み幅は大きいですが、観光のV字回復に合わせて、地価も沖縄が一番早く回復するだろう」と受け止める声があった。

4-6月の見通しBSIは建設業が-20.0で「下降」超、全業種の中で最も悪い見通し結果となった。1月以降、統計上の数字は回復の兆しがあるものの、先行きの不透明感から来る経営者のマインドが反映された格好だ。不動産業等は今期実績と同じ3.1の「上昇」超となっている。

消費・サービス関連 [全体として「下降」超 先行きは上向き]

消費・サービス関連の今期(1-3月)の景況判断BSIは、緊急事態宣言の影響が多方面に波及し、全体として「下降」超が多くなっている。業種別では、情報通信業のみ5.6で「上昇」超。飲食サービス業(-66.7)、医療・福祉(-44.4)、製造業(-39.5)、その他のサービス業(-35.7)、卸売・小売業(-35.1)は「下降」超で下降幅も大きくなっている。

主な景況下降要因として、緊急事態宣言による観光客需要減退があり、特に観光客需要に頼る業種において業況は厳しいものとなっている。また、県民需要においても行楽やイベント自粛等が多く、関連する需要が減退している状況だ。

下降幅が大きかった飲食サービス業に関して、緊急事態宣言の影響で売上が大幅に減少したという声が多く聞かれた。一方、時短要請に対する協力金が売上以上に大きく、黒字化に寄与したという声も聞かれている。

小売等の流通に関しては、底堅い県民需要に支えられ食品関連は堅調。パンや牛乳を扱う企業からは、巣ごもり消費もあり一貫して需要が安定していることが聞かれている。対して、観光需要のシェアが大きい土産店や観光関連向けの卸などの分野では引き続き低迷している。こうした分野においては、需要喚起策、支援策などがほとんどなく、行政支援から漏れている状況となっている。

医療・福祉では、緊急事態宣言により外来患者や介護サービスの利用者の減少が売上低迷を招いている。

4-6月の見通しは情報通信業(-16.7)を除き、全体として「上昇」超となっている。医療・福祉(38.9)、飲食サービス業(19.0)、製造業(18.6)、その他のサービス業(13.3)、卸売・小売業(5.4)など、緊急事態宣言明けへの期待もあり、上昇幅が大きくなっている。

以上

—— 本資料のご利用に際して ——

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社 HP (<http://www.kaiho-ri.jp/>) においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・瀬川、当銘までご連絡ください。

TEL: 098-869-8724 E-mail: sonshu_segawa@kaiho-ri.jp